

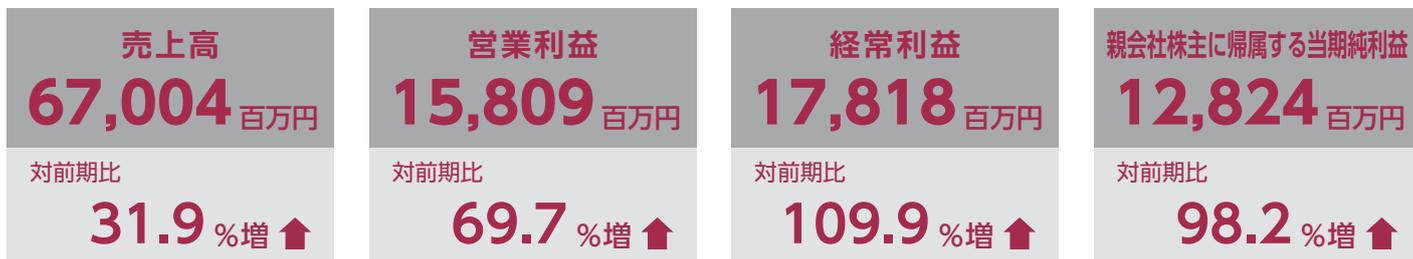


2022年4月入社の新入社員

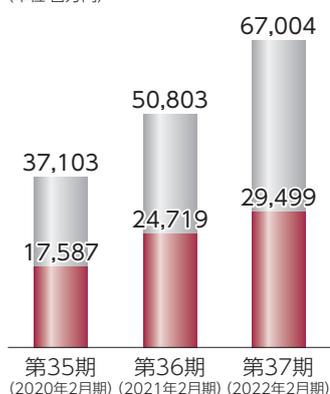
業績ハイライト(連結)

Consolidated Financial Highlights

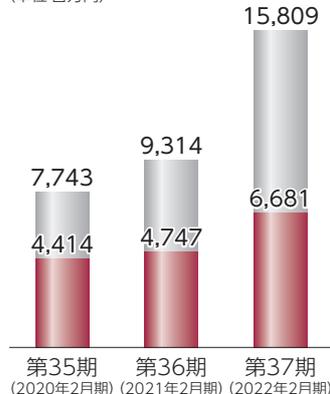
2022年2月期の業績



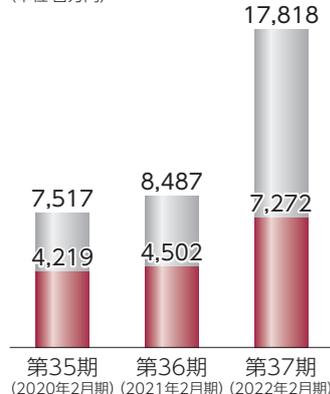
■ 通期
■ 第2四半期累計
(単位:百万円)



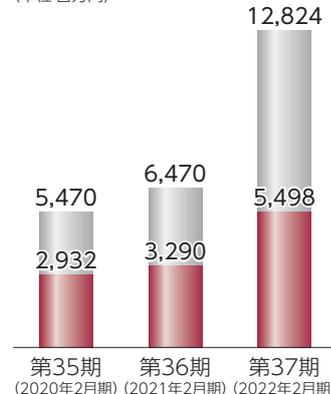
■ 通期
■ 第2四半期累計
(単位:百万円)



■ 通期
■ 第2四半期累計
(単位:百万円)



■ 通期
■ 第2四半期累計
(単位:百万円)



2023年2月期の業績見通し





世界的な半導体需要の下、おかげさまで当期は創業以来最高の売上高と利益を達成することができました。

一方で世界ではさまざまなことが起き、不確実性が高まっております。それでも私たちは、テクノロジーで世界は変えられると信じ、技術のその先を笑顔にするために、グループ一丸となって突き進んでまいります。

代表取締役社長 藤代 祥之

当期の経営成績

IoT、5Gなどの情報通信技術の拡がりや自動車の自動運転、AIなどの次世代技術の発展を背景とした半導体需要が支えとなり、世界各地域で半導体製造設備への積極的な投資がおこなわれております。

このような状況の中、当社グループは半導体関連装置の販売が好調に推移し、計画を超えた増収となりました。また、主要工場であるベトナム工場での生産効率の改善及び為替の影響により大幅な増益となりました。

この結果、当期の経営成績は、売上高670億円(前期比31.9%増)、経常利益178億円(前期比109.9%増)となり、過去最高の売上高、利益となりました。これで3期連続の増収増益となっております。

来期の見通し

来期におきましても、引き続きスマートフォンの高機能化やメタバースなどの新しい半導体需要の増加が見込まれます。また、カーボンニュートラルやサステナブルな観点からグリーン投資がおこなわれ、半導体のニーズがさらに高まることも期待されます。

来期も旺盛な半導体製造設備投資が継続されると予測し、売上高887億円(前期比32.4%増)、経常利益247億円(前期比38.9%増)を計画し、4期連続の増収増益を目指します。そして期末配当金は110円を想定しております。

未だ収束しないCOVID-19、不安定な世界情勢においても、「世の中にないものをつくる」という強い気持ちで技術を磨き続けてまいります。

拠点紹介



TOPIC 1 ベトナム新工場(8棟目)建設中

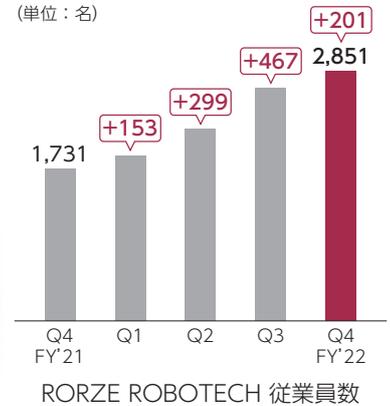
お客様からの受注増加に対応するため、当社グループの生産拠点であるベトナムのRORZE ROBOTECHに8棟目の新工場を建設中です。既存のベトナム工場と同じ野村ハイフォン工業団地内に2022年8月末完成で進行しております。地上5階建て、延べ床面積は約3万㎡で、この工場の稼働によりシステム製品は従来のおよそ1.5倍、ユニット製品はおよそ2倍の生産力増強を見込んでおります。



建設中の様子(2022年4月)



新工場の完成イメージ



TOPIC 2 中国でのシステム製品の生産と出荷を開始、そしてさらなる拡張へ新会社設立

年々、大きく伸び続ける中国での需要と期待に応えるため、よりお客様と近い上海での生産と出荷を開始しています。さらに中国子会社RORZE CREATECHの既存クリーンルームにとどまらず、新工場として地上3階建て、延べ床面積6,600㎡の準備も進めています。場所は上海臨港開発区内に位置し、稼働は2022年秋頃を予定。これに伴い、新会社としてRORZE CREATECH SEMICONDUCTOR EQUIPMENT CO., LTD (上海) を2021年12月末に設立しました。今後は計画的に増員をおこない、よりお客様に満足いただけるものづくりをおこなってまいります。



新工場の外観と内装工事の状況(2022年4月)



新工場の完成イメージ

TOPIC 3 ライフサイエンス事業においても拡充と移転

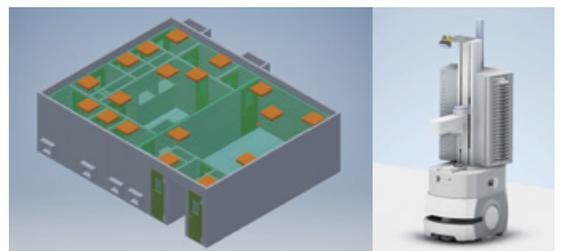
近年では創薬研究・再生医療に必要な細胞培養操作における自動化製品のみでなく、研究エリア全体の自動化・効率化コーディネートを期待するお客様の声も増えています。多様化するご要望に応えるために、このたびローツェライフサイエンスは、機能ごとに分散している現在のオフィスをすべて集約できる新しい研究施設へ移転します。2022年5月に移転し、今後は人員増加やショールームの準備など、より一層の開発促進とお客様のニーズに応じてまいります。



新しい研究施設・オフィス外観



以前は精密測定機器メーカーの研究所として使用されていたため、すでに一部はエアシャワーなどの精密機器開発向け仕様



左: 細胞培養設備の例(複数のシステム機器と処理室を導入した空間)

右: その設備内でマイクロプレートなどの容器を運ぶモバイルロボット(自社開発)

主要な事業内容

セグメント	品目	主要製品名
半導体・FPD関連装置事業	半導体関連装置	大気用ウエハ搬送装置 真空用ウエハ搬送装置 ウエハ搬送ロボット等(単体製品)
	FPD関連装置	ガラス基板搬送装置 ガラスカッティングマシン
	モータ制御機器	ステッピングモータ用ドライバ コントローラ
ライフサイエンス事業	ライフサイエンス関連装置	インキュベータ(細胞培養装置)

株式の状況

(2022年2月28日現在)

発行可能株式総数 35,280,000株
発行済株式の総数 17,281,305株

(自己株式358,695株を除く)

株主数 5,557名

大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
崎谷文雄	6,194,200株	35.84%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,833,100	10.61
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	871,400	5.04
藤代祥之	737,600	4.27
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	350,000	2.03
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044	329,060	1.90
株式会社中国銀行	320,000	1.85
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 381572	236,100	1.37
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	138,100	0.80
中銀リース株式会社	120,000	0.69

(注) 当社は、自己株式358,695株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

決算期	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当：毎年2月末日 中間配当実施の場合：毎年8月31日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

役員

(2022年5月30日現在)

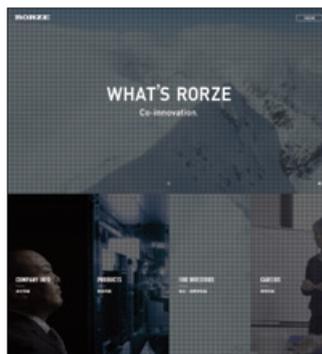
地位	氏名
代表取締役社長	藤代祥之
取締役	中村秀春
取締役	早崎克志
取締役相談役	崎谷文雄
取締役	羽森寛
取締役	森下秀法
常勤監査役	下出一益
監査役	栗巢普揮
監査役	金浦東祐

(注) 1. 羽森寛、森下秀法の両氏は、社外取締役です。
2. 下出一益、栗巢普揮及び金浦東祐の3氏は、社外監査役です。

配当実績



ホームページのご案内



詳しい会社情報や財務関連情報をご覧ください。



スマートフォンにも対応!

□ーツェ

検索

<https://www.rorze.com>

株主の皆様へ半期ごとに送付しております「中間報告書」につきましては、昨年より発行を取り止めさせていただいております。主要な情報はホームページにて、ご参照いただけますと幸いです。何卒ご理解いただきますよう、お願い申し上げます。

